

Hiroko Miki Piano Recital

2026年
11/
22
(日)

開演 14:00

開場 13:30

終演予定 16:10 ごろ



三木裕子
ピアノリサイタル

京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 1-26 地下鉄烏丸線「北山」駅 ①③出口より南へ徒歩5分

Program

R. シューマン	子供の情景 Op.15	Robert Schumann	Kinderszenen Op.15
J. ブラームス	6つのピアノ小品曲集 Op.118	Johannes Brahms	Sechs Klavierstücke Op.118
F. ショパン	3つのマズルカ Op. 59-1 イ短調 Op. 59-2 変イ長調 Op. 59-3 嬰へ短調	Fryderyk Chopin	3 Mazurki Op.59-1 in A minor Op.59-2 in A-flat major Op.59-3 in F-sharp minor
F. ショパン	舟歌 Op.60 嬰へ長調	Fryderyk Chopin	Barkarola Op.60 in F-sharp major
F. ショパン	幻想ポロネーズ Op. 61 変イ長調	Fryderyk Chopin	Polonez-fantazja Op.61 in A-flat major

入場料 全自由席

4,000 円

チケットお取扱い

- ◆ 京都コンサートホールチケットカウンター 075-711-3231
(窓口・電話とも10時～17時 第1・第3月曜日休館 休日の場合はその翌平日)
 - ◆ ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201
(窓口・電話とも10時～17時 年中無休 臨時休館日などにより変更の場合あり)
 - ◆ エラート音楽事務所 075-751-0617 (平日 10時～18時)
 - ◆ ロームシアター京都・京都コンサートホール オンラインチケット 24時間購入可
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
詳しくは京都コンサートホールのホームページを御覧ください。
 - ◆ チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード: 332-221]
 - ◆ e+ (イープラス) <https://eplus.jp> (パソコン・携帯)
- ※車椅子ご利用者様はエラート音楽事務所でのみお取り扱いいたします。

主催・お問い合わせ

エラート音楽事務所 075-751-0617

後援

公益社団法人 日本演奏連盟

東京藝術大学音楽学部同声会本部

東京藝術大学音楽学部同声会京都支部

名古屋音楽大学

オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム東京

tyo
オーストリア文化フォーラム
austrian cultural forum

未就学児の入場はご遠慮ください。託児室【有料】ご利用希望者様は10月22日までにエラート音楽事務所にお問い合わせください。

お車で越しの場合 ホール地下に駐車場あり 8:30～23:00 約100台収納可能

諸雑誌の批評文より

- ◆ 個性的なリズムの扱い、和声に対する響きの把握、それらを幻想的に高める指の運びなどにこのピアニストの優れた感性を感じた。
- ◆ 落ち着いた眼差しとゆるぎない信頼感そして人間味あふれる演奏。
- ◆ スターのエンターティメントやエキセントリックな独自性といった演奏とは対極の演奏会であり、各々の作品から作曲家の心情がふくいくと立ち昇ってくる。
- ◆ 細部まで楽譜を深く読みこんだ構築的な解釈は巨匠ならではの音楽づくり。
- ◆ 音楽のバランスのよい構成力もさることながら、それよりも曲の核心に分ける洞察力と抑制された造形の中で明滅する叙情のゆたかさが魅力である。彼女の場合内面の深さをこそ評価せねばなるまい。軽薄短小のこの時代、このようなピアニストは貴重な存在といえる。

演奏会に寄せて

今回のテーマ

私自身が後期高齢者に昇格し、人生最終楽章に入りました。ピアノの演奏というものは、奏者の人生での経験などにより演奏が絶えず変化していきます。その人の人生が演奏を変えます。若い時の演奏は達者には弾けるのですがプラスアルファの部分が青臭いものです。

一方作曲家も一人の人間です。最終楽章の時点での作曲された曲をも選曲しました。その置かれている状況をお話し、作曲という仕事への意欲はどの様であったか、そしてその結果、曲にはどのような音楽の方向性と新たな視点で向きあっているように読み取れるかということについて、私なりの意見をトークと演奏とを交互に発表してみたいと思います。プログラムノートに記載しましても、会場では暗すぎて読めないとか、メガネを忘れてきたとかございますので、のんびりくつろいで頂きたいと思います。

ユーチューブやCDなどで誰もが気楽に音楽を自分好みの音量で聴くことができますが、所詮マイクを通したものは実像ではありません。写真でみると実際に出逢うのとの違いのように、コンサート会場では生の人間が会場での人たちと呼吸を共にしながら互いに空間に響く音楽の喜びを分かち合うものです。

ミスタッチが生じてもまた感情の動揺が激しくてもそれらをもひっくり返して生きた音楽の魅力であり、それが感動を生み豊かな時間として心に残ります。世の中はAIが発達し完璧をもとめるようになってしまっていると思いますが、人間だからこそなせる世界を目指し、クラシックといえども、今・生まれたばかりのような音楽を演奏できれば・・・と思っています。

所詮、年齢に左右されるハプニングも生まれることと思いますが、ご支援の程よろしく申し上げます。ご来場お待ちしております。

プロフィール



京都市生まれ
京都府立洛北高校 普通科
東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻 学部卒
ドイツ・ミュンヘン音楽大学マイスター修士卒【DAAD 給費留学生】
オーストリア・ザルツブルグ芸術大学 【通称モーツアルテウム】学部卒

玉城嘉子、横井和子、井口秋子、L. ホフマン、H. ライグラフ 諸氏に師事する。
国内で日本音楽コンクール、海外派遣コンクール、日本ショパン協会賞、
音楽クリティッククラブ本賞など、海外でもドイツ、イタリア、スイス、スペインなどの
コンクールで入賞多数、各地でリサイタルを開催する。

ザルツブルグ芸術大学（国家認定教授）に勤務しながら、演奏と教育の両輪で研鑽を続ける。
チロル州立インスブルック音楽院や日本では大阪芸術大学大学院でも後進の指導にあたり、
ヨーロッパと日本を往来した。

ナミレコードからCDをリリース。
ザルツブルグ芸術大学定年退職を機に完全帰国に切り替える。
現在 名古屋音楽大学大学院客員教授

京都在住
www.hiroko-miki.com